

新規事務事業中間評価

<ハード：事業実施>

	事務事業名	事業の目的	事業の内容	担当課 係名	シート区分	一次評価	課長コメント	二次評価	評価委員会コメント	内容	原課要求額	予算(査定)額
1	奈賀地区学習等供用施設防音機能復旧(機器取替)工事【天王台会館】	地域住民の集会並びに学習等の用に供するため設置された、学習等供用施設を整備・充実することにより当該学習等供用施設を地域コミュニティ活動の中心の場として、また、市民自治及び自立心を育てていく場として提供する。	1.空調設備の取替え工事 2.内装の改装工事 3.バリアフリー化工事 4.奈賀二町内会が優先して使用できる集会室の設置	コミュニティ防災課 コミュニティ係	ハード	最優先に推進	空調設備が老朽化し、故障が多く電気の消費も大きい。ため、冷暖房を単一方式から個別方式に改修し、操作を各部屋で行えるようにし、経費の削減を図る。 また、内装の改修により施設の機能を高め地域コミュニティ活動の充実を図る。	事業実施	児童館の工作室の供用等について、児童課と調整を図りながら事業を進めること。 事業費は、予算査定段階で決定することとする。	設計委託料 監理委託料 工事請負費	2,700 1,650 58,454	2,565 1,568 52,000
									合計		62,804	56,133
2	消防ポンプ自動車購入(第3分団車両)	誰もが安心して生活できる災害に強いまちを創造するため、消防車両を整備し、消防力の維持・向上を図る。	1.消防車両の買い換え	コミュニティ防災課 防災係	ハード	最優先に推進	本消防車両の買い換えは、実施計画(平成12年度実施)を財政事業により3年間延伸した。このため、使用年数が15年を経過し老朽化していることから、防衛施設庁の補助申請をし内定を受けたので、買い換えを実施すべきである。	事業実施	特になし	備品購入費 需用費等	23,750 42	20,000 0
									合計		23,792	20,000
3	堰下臨時駐車場の有料化	市の観光拠点である羽村堰周辺は通年にわたり観光客が訪れている。市が国土交通省から借用している堰下駐車場を有料化し、ごみの不法投棄・放置自動車の防止などの対策も兼ね人件費等経費に当てる。	羽村堰下駐車場を整備し有料化した。 歳入(収入)あり	産業振興課 産業観光係	ハード	最優先に推進	適正な管理やごみ処理の観点、また、受益者負担の面から、実施すべきと考える。	事業実施	駐車料金は、企画どおり500円程度が妥当である。 なお、当分の間、羽村市観光協会において行う	委託料 工事請負費	3,285 2,000	706 0
									合計		5,285	706
4	市有水田看板整備委託	現在、市有水田(大賀ハス 睡蓮等)看板が老朽化しており、看板の説明文等がかすれている状況である。市民等からの要望もあり、水田看板の取替え整備を行う。また、チューリップまつりの中心地域でもあり、農地保全のため整備化を図る。	根搦み前市有水田看板の取替え整備	産業振興課 農業振興係	ハード	最優先に推進	当該地域は、市の観光地に位置づけており、景観植物等の看板整備は不可欠である。	事業実施	看板を設置することはよいが、看板の構造については、デザイン、耐久性等を十分検討すること。 また、方角を示す案内も盛り込むこと	委託料	1,390	441
									合計		1,390	441
5	根搦み前水田道路(市道6154号線)舗装工事	当該道路は未舗装のため、簡易的に補修を行ってもすぐに凸凹の状態となっている。そのためインターロック舗装の整備を行う。また、チューリップまつりの中心道路でもあり、チューリップをイメージしたカラーデザインを施した整備を図る。	1.道路改良実施設計 2.車道改良等	産業振興課 農業振興係	ハード	最優先に推進	当該地域は、市の観光地に位置づけており、水田等の土壌保護及び観光客の歩道としても整備が必要である。	事業実施	施工方法(水田風景にあったデザインの採用など)をよく検討して実施すること。 予算査定段階で財源調整を行い、優先順位をつけて実施する。	工事請負費	6,000	0
									合計		6,000	0
6	資源化廃棄物中間処理事業(圧縮減容機購入)	資源化廃棄物(ペットボトル・プラスチック製容器包装)について、容器包装リサイクル法に基づく適正な中間処理(圧縮減容)を行う	現状では、現有設備の処理能力において、日々のごみ処理量を処理できない。また、装置をフル稼働していることから、故障やトラブルが発生している。 購入が不可能な場合、リース又は、民間に圧縮作業の委託を検討する。比較方法として、当該事務事業の評価は、減容機購入の直営処理と、処理できない分を民間委託した場合のコスト比較を行う	生活環境課 リサイクルセンター係	ハード	最優先に推進	容器包装リサイクル法に基づく容器包装プラスチックを適正処理するために圧縮減容機を設置し、リサイクルの推進を図る。	事業実施	特になし	需用費、委託料等 備品購入費	240 13,000	0 12,716
									合計		13,240	12,716
7	市営住宅維持管理事業	間坂団地の外壁等が経年劣化により補修が必要となったことから補修工事を行い、施設の維持と入居者の住環境の向上を図る。	1.間坂団地屋上防水工事	管理課 管理係	ハード	推進	雨漏り等が発生してからでは手遅れであることから、年次計画に基づき施行していくことが必要である。	事業実施	実施事業と位置づけるが、予算査定段階で財源調整を行い、優先順位をつけて実施する。	工事請負費	8,700	0
									合計		8,700	0

8	市道第101号線の整備 (市役所通り)	商業施設が立地する市のメインストリートとして人が賑い、誰もが安全に歩けるように歩道拡幅、段差解消等のバリアフリー化を進めるとともに、歩道のカラー化等の整備を図る。	1.道路改良実施設計 2.歩道拡幅 幅員2.5m 3.5m 3.段差解消 4.勾配の改良 5.車道改良 幅員11.0m 9.0m等	建設課 土木係	ハード	最優先に推進	市道第101号線は、大動脈であり、産業振興、バリアフリー道路のネットワーク化の視点から、駅前中心部より計画的に実施することが必要である。	事業実施	施工した場合の駐車対策や渋滞状況などの諸問題の解決方法をよく検討すること。 平成15年度は、地元商店等と幅員等について十分協議していくこととし、事業費は計上しない。協議の結果を受けて、次年度以降に設計費等の予算要望を行うこと。 また、防衛庁の補助金の確保については、最大限の努力を行うこと。	委託料	6,000	0	
											合計	6,000	0
9	羽村市立松林小学校屋内運動場耐震診断及び補強設計業務委託	学校施設は児童・生徒の教育及び生活の場であるとともに、地震発生時に地域住民の避難所となることから、学校施設の安全性を確保するため、耐震診断及び補強設計を行う。	RC造1階建 延床面積772㎡ 屋内運動場の耐震診断及び補強設計	教育庶務課 施設管理係	ハード	最優先に推進	安全で快適な学習環境及び災害時の避難所の確保のために必要不可欠な事業である。	事業実施	平成15年度において、耐震診断経費のみ予算化することとする。	委託料	2,193	1,336	
											合計	2,193	1,336
10	羽村市立羽村第二中学校耐震補強設計業務委託	学校施設は児童・生徒の教育及び生活の場であるとともに、地震発生時に地域住民の避難所となることから、学校施設の安全性を確保するため、補強のための実施設計を行う。	RC造3階建 (一部4階建) 延床面積5,207㎡ 校舎の耐震補強設計	教育庶務課 施設管理係	ハード	最優先に推進	安全で快適な学習環境及び災害時の避難所の確保のために必要不可欠な事業である。	事業実施	特になし	委託料	3,161	2,529	
											合計	3,161	2,529
11	羽村市立羽村第二中学校防音機能復旧 (機器取替)工事实施設計業務委託	空調機器の老朽化に伴い冷暖房の修繕を必要としているため、機器の取り替えを行い、教育環境の整備を図る。	RC造3階建 (一部4階建) 延床面積5,356㎡ 管理諸室及び特別教室、個別空調普通教室、単一ダクト方式の設計	教育庶務課 施設管理係	ハード	最優先に推進	快適な学習環境を確保する上で、施設の改修が求められており、必要不可欠な事業である。	事業実施	個別空調でない部分が大半であるため、効率性が低い。設計にあたりよく検討すること。	委託料	5,639	5,076	
											合計	5,639	5,076
12	スイミングセンター外壁塗装・屋上防水工事	築後12年を経過して外壁塗装、屋上防水が老朽化で部材の亀裂・剥離箇所が出て雨漏れや壁から雨水が浸透する等、施設管理上に支障を来しているため、当該工事を実施して施設の維持管理の充実を図ることを目的とする。	スイミングセンター外壁塗装・屋上防水等工事 1階 2,184.36㎡ 2階 1,045㎡ 計 3,229.82㎡ 1.防水 アスファルト防水 2.シーリング ポリサルファイド 3.目地 屋上伸縮目地の張替 4.外壁 磁器質タイル 吹付タイルの目地補修及び防水モルタルの吹き替え等	体育課 管理係	ハード	最優先に推進	建築後12年が経過し、経年劣化により施設が老朽化し、屋上からの雨漏れ、外壁亀裂による雨水の染み込みなどが頻繁に発生し、施設の運営に支障を来している。そこで、改修工事を行い、施設の維持・管理を適正にし、安全で快適な運営を行う必要がある。	事業実施	建物の維持管理上、実施事業とするが、事業費については、予算総額のなかで精査決定していくこととする。	委託料 工事請負費	4,700 51,500	4,000 46,000	
											合計	56,200	50,000
13	弓道場整備事業	市民の健康・体力づくりを組織的に進めるため、弓道場を設置し、年間を通して施設を有効に活用することにより市民のスポーツ・レクリエーションの振興とコミュニケーションを深めることを目的とする。	長期総合計画実施計画での位置づけは、当初、平成15年度中「弓道場整備調査」としていたが、既存の弓道場が仮設建物で老朽化により運営に支障を来しているため、1年早めて平成14年度中「弓道場調査」とし、以降、平成15年度中「実施計画」、平成16年度中「建設着工」、平成17年度中「開設」の計画で実施する。	体育課 管理係	ハード	最優先に推進	スポーツセンターの仮設弓道場を20年間使用してきたが、老朽化と手狭なため、新弓道場を整備し、弓道人口の増加を図るとともに、中学生へのスポーツ活動の場の提供によって、弓道競技のすそ野の広がりを生む効果がある。 併せて、市民の健康・体力づくりの推進とコミュニティの醸成を図ることができる。	事業実施	実施事業とするが、事業内容、事業費の削減の工夫、競技人口の拡大 (例:中学生への拡大)、特定財源の確保などについて、よく検討すること。	委託料	4,500	3,000	
											合計	4,500	3,000

<ハード：要求額の減額、事業内容の変更>

事務事業名	事業の目的	事業の内容	担当課 係名	シート区分	一次評価	課長コメント	二次評価	評価委員会コメント	内容	原課要求額	予算(査定)額	
1 神明台会館空調設備改修工事	地域住民の集会並びに学習等の用に供するため設置された、地域集会施設を整備・充実することにより、当該地域集会施設を地域コミュニティ活動の中心の場として、また、市民自治及び自立心を育てていく場として提供する。	1.空調設備の取替え工事 2.内装の改装工事 3.バリアフリー化工事	コミュニティ防災課 コミュニティ係	ハード	最優先に推進	昭和50年に建設され、空調設備の老朽化により故障が多く、電気の消費も大きい。 このため、冷暖房を単一方式から個別方式に改修し、操作を各部屋で行えるようにし、経費の削減を図る。	要求額の減額、事業内容の変更	同種事業と比較し、事業費が高い。現場を再度確認し、事業費を再算出して、予算計上すること。	設計委託料 監理委託料 工事請負費	1,331 850 25,000	1,000 600 18,500	
										合計	27,181	20,100

2	中央児童館空調機器改修工事	空調機器の改修により利用者への快適性を高めるとともに、光熱水費等の適正化を図り効率的な施設の管理運営を行うことを目的とする。	老朽化により正常な運転が不可能になっている空調機器の取替え工事を行う	児童課 児童館係	ハード	推進	空調機器の老朽化により利用者の快適性を損ない、施設の適正な管理運営ができない現状から改修工事を行うものである。	要求額の減額、事業内容の変更	ランニングコストは個別式の方が低い ため、集中方式のダクトを撤去しないで 個別空調方式にする場合と現行 予定の集中方式をよく比較検討する こと。	設計、監理委託料	1,500	1,350
										工事請負費	22,000	18,000
										合計	23,500	19,350
3	障害者にやさしい道路施設改良工事	羽村市交通バリアフリー基本構想に基づき、移動経路として指定された路線等についてバリアフリー化の整備を行う	歩道について、 1.段差改良 2.勾配の改良 3.視覚障害者誘導用ブロックの敷設 以上の道路改良工事を実施する。	建設課 土木係	ハード	最優先に推進	整備路線は、羽村市交通バリアフリー法基本構想の特定路線であるので、年次計画を立てて実施していく。	要求額の減額、事業内容の変更	平成15年度において、市道第1038号のみ予算化することとする。 また、富士見小学校脇の道路改良は、最終年度に持ち越し、実施すること。	委託料	2,330	0
										工事請負費	50,600	7,200
										合計	52,930	7,200

<ハード：次年度持ち越し>

	事務事業名	事業の目的	事業の内容	担当課 係名	シート区分	一次評価	課長コメント	二次評価	評価委員会コメント	内容	原課要求額	予算(査定)額
1	自然休暇村内外装改修第2期工事	市民に保養の場を提供し、心身の健康と福祉の増進を図る。	1.内装の改装工事 2.バリアフリー化工事 等	コミュニティ防災課 コミュニティ係	ハード	最優先に推進	老朽化した浴室 体育館 壁・カーペット等の改修を行い、利用者に対する快適性を確保し、やすらぎのある保養の場を提供し、心身の健康と福祉の増進を図る。	次年度持ち越し	平成15年度に行き経営状況調査に施設の状況(例 団体用風呂のサイズ、改修すべき部分等)を入れて結論を出すこと。 その結果を受けて、改修部分の決定をしていくこととする。	監理委託料	1,218	0
										工事請負費	50,012	0
										合計	51,230	0

<ハード：実施しない>

	事務事業名	事業の目的	事業の内容	担当課 係名	シート区分	一次評価	課長コメント	二次評価	評価委員会コメント	内容	原課要求額	予算(査定)額
1	特殊浴室特殊入浴装置(特殊浴槽)交換事業	いこいの里開所時に設置した特殊入浴装置(浴槽)の経年劣化の機能低下と利用者の増加に対応するため、特殊入浴装置の入れ替えを行い、安全で効率のよい施設機能の充実を図る。	1.特殊入浴装置入れ替え(既設装置撤去・目的別特殊入浴装置一式2台分) 2.間仕切り設置	高齢者在宅サービスセンター 高齢者在宅サービスセンター係	ハード	最優先に推進	デイサービス業務の一部である介護特別入浴については、車椅子や寝たきり状態の高齢者のサービス提供に欠かすことができないものである。また虚弱高齢者にとって週数回の入浴は健康管理の面からも重要であることから、特殊入浴機器の機能低下により交換が望まれる。	実施しない	2台が同時に故障することもないはずで、故障しそぞだからという予測で一度に交換することはない。 故障した段階で老人福祉センターじゅらく苑の装置を効率的に利用するための工夫をしながら新規購入などの手段を検討していくこと。	需用費、委託料等	509	0
										備品購入費	13,797	0
										合計	14,306	0
2	狭隘な生活道路の整備	狭隘な生活道路の防災面や交通安全面での機能を向上させるため、用地を取得し道路幅員の拡幅及び交差点の隅切りを築造する。	1.市道第5081号線改良工事 現況幅員4.62m 計画幅員6.0m 買収幅員3.42m 買収延長105.0m 買収面積358.7㎡	管理課 用地係 建設課 土木係	ハード	推進	幅員が狭く利用者は不便を感じている。また、災害時の避難路となることなどから改修工事を行う必要がある。	実施しない	他に整備すべき候補地もあるので、全体計画を見直し、順位度を定め、それに基づいて実施することとする。	委託料 土地購入費 補償金	61,850	0
										合計	61,850	0

<ソフト：事業実施>

	事務事業名	事業の目的	事業の内容及び結果	担当課 係名	シート区分	一次評価	課長コメント	二次評価	評価委員会コメント	内容	原課要求額	予算(査定)額
1	会議録検索システムの導入	電子データ化した会議録を市民に提供し、議会の情報提供業務の充実を図るとともに、議員及び職員への利便を向上させる。	1.内部用ハードウェアの整備 2.データの作成(調整) 3.内部用システムの導入～運用開始 4.外部提供用ハードウェアの整備 5.外部提供用システムの導入～運用開始	議会事務局 議事係	ソフト	最優先に推進	分権時代の自治体に求められる情報提供の推進、透明性の向上、市民協働の促進、情報化の推進等を図る上で必要な事業であり、早期に取り組んでいく必要がある。	事業実施	市民への情報提供の方法として有効であり実施事業と位置付けるが、予算査定段階で財源調整を行い、優先順位をつけて実施する。	委託料 使用料 合計	1,071 2,144 3,215	0 0 0
2	女性の就労実態調査	働く場における意識や労働実態を把握することで、より重点的に実施する事業を設定するための基礎資料とするとともに、事業所の自助努力を促す。	事業所・企業統計調査から、無作為に抽出した市内従業員30人以上の民間事業所に勤務する女性社員1,000人(1社2名、正社員1名、非正社員1名)を対象に、事業所あてに調査用紙を郵送し、任意の女性従業員2名に配布してもらい、各自記入後は事業所を経ずに直接郵送してもらう	企画課 男女共同参画担当	ソフト	最優先に推進	男女共同参画基本法の趣旨を踏まえ、男女共同参画社会を形成していくためには市民・事業者・行政の一体となった取り組みが重要である。そこで、市が様々な施策を推進していくためには、市内事業所に勤務する女性に実態調査を行うことにより、現状を把握する必要がある。	事業実施	実施の方向とするが、方法・調査内容をよく検討すること。実施する前に検討結果を庁議等へ報告すること。	消耗品費 郵便料 合計	149 149	148 148
3	ガイドブックはむら作成・配布	市民の生活に役立つ事務事業や施設案内等の情報をまとめて市民に提供する。	1.ガイドブックの作成 2.全戸配布 5年ごとに実施	広報広聴課 広報係	ソフト	推進	ガイドブックは、市民生活の利便を図るうえで必要なものである。既存のものは現状に即しておらず、新たな発行が必要である。	事業実施	実施事業と位置付けるが、費用については、予算総額のなかで調整することとする。	印刷製本費 委託料 合計	6,615 978 7,593	5,985 978 6,963
4	マイマップはむら(防災マップ)の作成・配布	市内全戸に防災関係・緊急医療・官公署などの情報を盛り込み、市民に提供する。	1.マイマップはむら(防災マップ)の作成 2.全戸配布 5年ごとに実施	広報広聴課 広報係	ソフト	推進	マイマップは居住者並びに転入者に広く活用されている。ガイドブック同様、発行後5年が経過しており、内容を更新し全戸配布する。	事業実施	事業は実施。ただし、広告等の収入について、今後、研究する必要がある。	印刷製本費 合計	2,993 2,993	2,843 2,843
5	総合行政ネットワーク(LGWAN)の整備	国、都、他市との公文書を含む文書交換 市民の電子申請を実現する公的認証基盤の確保	1.国、都、他市との公文書を含む文書交換を電子的に行うこととした。 2.市単独で開発すると巨額な費用が必要な公的認証基盤をLGWANに参加することで入手し、市民等の電子申請を実現する。	情報システム課 情報化推進係	ソフト	最優先に推進	今後、電子自治体を構築していく上で必須の基盤になると考える。	事業実施	実施の方向とするが、市民サービス部分を早期にとまとめ、実現すること。	回線使用料 導入委託料 備品購入費 使用料 合計	313 42 11,349 0 11,704	313 42 0 1,300 1,655
6	セキュリティポリシーの策定	電子情報を保護するための安全性についての対応を図る。	総合的なセキュリティポリシーを策定 1.現状把握 2.リスク分析 3.基本方針作成 4.対策基準作成	情報システム課 情報化推進係	ソフト	最優先に推進	情報システムの安全性・信頼性の確保のため、重要な取り組みである。	事業実施	システムの安全性等を確保する意味でLGWANと対成すものである。事業費をよく精査して進めること。	委託料 合計	18,564 18,564	5,000 5,000
7	自然休暇村経営改善・広域利用調査委託	自然休暇村の経営分析と広域利用の有効性について、民間の経営分析専門業者(監査法人等)に調査委託し、経営の改善と広域的な利用方法等を多角的かつ徹底的に研究し、施設の再生等を目指すことを目的とする。	1.自然休暇村の経営分析 2.経営改善の方法 3.広域利用の方法・効果等 4.将来指針の作成	コミュニティ防災課 コミュニティ係	ソフト	最優先に推進	本事業は、民間から見た経営分析等により、経営の改善等を図るものである。このことから、民間施設との比較、コスト計算等、精密な数値を算定し、改善案を探るものである。施設の広域利用も含め、今後の自然休暇村のあり方を抜本的に見直す事業である。	事業実施	自然休暇村の「広域利用」部分は、経営改善部分の一部と考え、事業名を変更すること。また、調査委託で何を求め、どこが問題なのか、よく事前検討し、委託すること。	委託料 合計	1,500 1,500	1,500 1,500
8	戸籍システム機器更新	戸籍電算システム機器を更新し、より正確で迅速な戸籍の処理並びに安全性を確保することにより、市民サービスの向上を図る。	戸籍電算システム、サーバー・クライアント機器の入替	市民課 戸籍係	ソフト	最優先に推進	現在の機器の状態では、電算化によるメリットを十分活用できていない。また、安全性の確保と法改正への対応を考慮し、事業を推進すべき事業である。	事業実施	事業は推進する必要があるが、同様のシステムを扱う業者も多いので、システム・価格競争を実施すること。	使用料 合計	7,567 7,567	6,488 6,448

	事務事業名	事業の目的	事業の内容	担当課 係名	シート区分	一次評価	課長コメント	二次評価	評価委員会コメント	内容	原課要求額	予算(査定)額
9	市立保育園の運営における第三者評価事業	保育園が提供する保育サービス及び経営や組織のマネジメント力を市と契約した評価機関が第三者評価することにより、保育サービスの向上や事務事業の改善及び利用者の適切な保育サービスの選択に資することを目的とする。	平成15年度は、市立2園(東保育園、さくら保育園を予定)で第三者評価事業を実施し、残り2園(西保育園、しらぬい保育園)は翌年度に実施する。	児童課 保育係	ソフト	最優先に推進	東京都の「福祉サービス第三者評価システム検討会」の報告書では、市町村の役割として、サービス評価を受ける意義について、事業者周知し、評価を受けるよう対策をとる必要があるとしている。	事業実施	第三者評価は、時代の流れでもあり市立保育園が率先して評価を受けていく意義は大きい。近隣自治体との歩調合せにも配慮し、予算査定段階で財源調整を行い、優先順位をつけて実施する。	委託料	1,200	0
										合計	1,200	0
10	健康はむら21の策定	市民が健やかに心豊かな生活観を享受できる環境づくりの一つとして、生活習慣病予防としての一次予防に重点を置いた施策体系の策定	平成12年度において21世紀の国民健康づくり運動「健康日本21」がスタートし、公衆衛生の新しい施策の方向性が示され、地方分権の流れのなかで、健康づくりの推進においても各自治体の地域特性に応じた健康づくり運動の展開が望まれている。特に、人口の急速な高齢化とともに、食生活、運動習慣等を原因とする生活習慣病の増加による、要介護状態への移行など、一次予防の重要性が叫ばれている。このことから、一次予防に重点を置いた地域特性を生かした計画づくりに取り組む。 1.2か年の継続事業として実施する。 2.既存の審議会で審議	健康課 保健センター係	ソフト	最優先に推進	健康づくりの基本指針として本計画を策定し、将来に向けての健康づくり事業の推進を図る。	事業実施	計画を体系付けるだけでなく、計画がどのように市民に実行されるかを検討しなければならない。事業実施に位置づけ、費用・方法等について、さらに精査し具体案を作成すること。	需用費等 報酬 委託料	171 1,171 7,111	0 0 2,176
										合計	8,453	2,176
11	羽村市立栄小学校耐震診断調査業務委託	学校施設は児童・生徒の教育及び生活の場であるとともに、地震発生時に地域住民の避難所となることから、学校施設の安全性を確保するため、耐震診断を行う。	RC造3階建(一部4階建)延床面積3,909㎡ 校舎の耐震診断	教育庶務課 施設管理係	ソフト	最優先に推進	安全で快適な学習環境及び災害時の避難所の確保のために必要不可欠な事業である。	事業実施	特になし	委託料	4,889	4,220
										合計	4,889	4,220
12	武蔵野小・羽村第三中学校教育用コンピュータ買い換え	平成9年度より整備した小・中学校教育用コンピュータが、整備後6年余を経過し、メモリー不足、ソフトや周辺機器が使用できない等の不都合が生じている。また、OSがWindows95であるため、新規のソフト等は使用できないものも多い。これらの不都合・問題点を解消し、時代に即した情報教育環境を整える。また、2002年に出された国の指針に沿った環境づくりを行う。	平成15年度を初年度(一番古い武蔵野小・羽村三中から実施)とし、2校/年ずつの5か年で小・中学校教育用コンピュータの買い換えを行う。さらに、小学校については、現在20台ある教育用コンピュータを42台とし、一人1台体制の授業を可能にする。また、旧コンピュータは、一・二・三中の図書室に再配置し、インターネット接続用として、また、現在コンピュータのない心障学級や教室等にも配置し、再利用していく。	教育庶務課 学務係	ソフト	最優先に推進	コンピュータ社会の中でしかも高度な技術が求められている。この事業は、非常に効果的であり必要不可欠である。また、国の方針に沿ったものである。	事業実施	実施事業とするが、買い換え対象はWindows95の機種とする。	備品購入費	37,800	34,000
										合計	37,800	34,000
13	小学校金管バンド・中学校 brassバンド等楽器の充実	音楽のあるまちづくり推進のため、小学校や中学校にバンド編成するための楽器の整備、今回老朽化等のため一部買い換えや補充を行う。	羽村西小・小作台小・武蔵野小・羽村一中の楽器の補充	教育庶務課 学務係	ソフト	最優先に推進	コンクール等の活躍は目覚しく、羽村市の名声を高めるとともに、児童・生徒自身にも教育の一環として学び、体験をしている。ある程度の充実を図っていく必要がある。	事業実施	楽器は大切に使用すれば、部品の交換は別にして、充分、長期の使用に耐えるものである。各校の状況をよく確認して補充を行う必要がある。なお、事業費は、予算査定段階で決定することとする。	備品購入費	8,000	小学校 831 中学校 1,182
										合計	8,000	2,013
14	中学校通級指導学級の運営	中学校の通常の学級に在籍する軽度の情緒障害の生徒を通級指導学級で個別指導を行い、障害からくるつまづきを克服させる。	羽村第一中学校に、通級指導学級(情緒障害)を1学級設置し、週8時間以内で個別指導計画に基づき学習する。教諭については、東京都負担。	教育庶務課 学務係	ソフト	最優先に推進	市民要望もあり、早期に実施することが学習環境の整備として必要である。	事業実施	実施事業とするが、賃金単価等の事業費は、予算査定段階で決定することとする。	賃金 旅費 需用費 使用料 備品購入費	1,107 0 180 0 2,000	602 2 150 33 1,500
										合計	3,287	2,287

	事務事業名	事業の目的	事業の内容	担当課 係名	シート区分	一次評価	課長コメント	二次評価	評価委員会コメント	内容	原課要求額	予算(査定)額
15	羽村第一中学校児童生徒用机 椅子の新JIS規格への買換え	多様な教材が使用されるなかで、机面の寸法を拡大(A版化)し、材質などを規制することでISO規格 JIS規格の整合が図られた。このことにより平成14年12月31日で現在使用している机と椅子が JIS規格を取り消されるため、学校単位で段階的に買換える。	羽村一中から学校毎に机 椅子を買替える。	教育庶務課学務係	ソフト	最優先に推進	教室用机 椅子の日本工業規格が改正されたことにより、国の計画との整合性を確保する観点から実施する必要がある。	事業実施	実施事業とするが、予算査定段階で財源調整を行い、優先順位をつけて実施する。	備品購入費	4,914	0
										合計	4,914	0
16	学校図書館総合システムの導入	学校図書館の本の貸出しをパソコンで管理し、効率化を図る。読まれている本の傾向等を調査し、新刊図書購入等の参考にし、調べ物学習等で本の選択に活用する。	パソコンに蔵書のデータをジャンル別等に入力する。本にバーコードラベルを貼る。本の貸出し等の作業をパソコンで行う。将来に向けて他校や羽村図書館との図書ネットワークの基礎を築く。	教育庶務課学務係	ソフト	最優先に推進	効果的な学習環境の整備として、全校に導入する必要がある。	事業実施	実施事業とするが、既に導入済の学校の評価やネットワークの有効性を明らかにしたうえで、対応(事業実施)するものとする。また、一学校あたりの事業費についてもよく精査すること。	委託料 備品購入費	8,247 1,800	242 0
										合計	10,047	242
17	玉川上水開削350周年記念事業「玉川上水ウォーク」	江戸・東京市民の飲料水、生活用水を支えた玉川上水が承応2年(1653)に開削されて以来、平成15年に開削350周年を迎えるにあたり、取水口である羽村市において記念事業「玉川上水ウォーク」を実施する。	平成15年5月24日(土)31日(土)の2日間で開梁部の杉並区昭栄公園から羽村市玉川兄弟銅像前までの約30kmを歩く。 第1日目 杉並区昭栄公園から小平市いこい橋 約15km 第2日目 小平市いこい橋から羽村市玉川兄弟銅像前 約15km 参加者数250人	体育課スポーツ振興係	ソフト	最優先に推進	玉川上水の開削350周年を記念するウォーキング事業を行うことにより、市民が自分の目で玉川上水を見て理解でき、さらに、歩くことで健康づくりに役立つ。従ってこの事業は重要である。	事業実施	対象者を250人に限定せず、より多くの参加者を得るよう工夫すること。	旅費 需用費 役務費	414	178
										合計	414	178
18	玉川上水開削350周年記念事業「駅伝大会」	江戸・東京市民の飲料水、生活用水を支えた玉川上水が承応2年(1653)に開削されて以来、平成15年に開削350周年を迎えるにあたり、取水口である羽村市において記念事業「駅伝大会」を実施する。	平成15年11月30日(日)玉川兄弟銅像前をスタートゴールとする大会。5競技部門の予定	体育課スポーツ振興係	ソフト	最優先に推進	玉川上水の開削350周年を記念する「駅伝大会」を行うことで、玉川上水の意義や役割が再認識できる。合わせて、駅伝大会で体力づくりとコミュニケーションができる。従って、この事業は重要である。	事業実施	現行事業の冠事業とする。全体の盛り上げを高めるよう努めること。	賃金 報償費 需用費 委託料	491	166
										合計	491	166
19	玉川上水論集「編集・印刷製本」	玉川上水の開削350周年を記念し、既発表の論文のうち、入手困難なものについて論集を発行する。	玉川上水の開削350周年に際し、玉川上水に関する論文を著作者の許可を得て再掲し、1冊の論集にまとめる。	郷土博物館郷土博物館係	ソフト	最優先に推進	要望の多い既発表の論文を1冊の論集としてまとめ、利用に供することは、博物館の役割である。	事業実施	発行が平成16年3月では効果が低いので、早く発行するよう努力すること。	報償費 印刷製本費	100 788	100 788
										合計	888	888
20	特別展「(仮称)玉川上水350年の軌跡」の開催	玉川上水開削350周年を記念して、普段なかなか公開できない貴重な資料を公開する。	玉川上水350年の軌跡を貴重な資料や解説パネル等でわかりやすく展示する。同時に展示解説(図録)を作成し、希望者に有料頒布する。関連事業として、平成14年度に好評だった講談ライブを有料で開催する。	郷土博物館郷土博物館係	ソフト	最優先に推進	他自治体と協力して貴重な歴史的史料を公開展示することは、多くの人々が玉川上水を理解する絶好の機会となる。	事業実施	記念事業全体の中心となる事業である。玉川上水開削350周年事業の成否がこれにかかっているといっても過言でない。内容を充実させるとともに、歳入の増加の工夫と経費の節減を図り費用対効果を検証しつつ成果を出していくこと。	報償費 旅費 需用費 委託料 備品購入費	425 20 1,784 3,597 365	0 20 1,658 3,597 0
										合計	6,191	5,275
21	玉川上水シンポジウムの開催	玉川上水の現在の評価を多方面から考察し、次代に伝える。	歴史、自然、土木建築など多角的に玉川上水をとらえ、次代への評価を確立させるようなシンポジウムとする。	郷土博物館郷土博物館係	ソフト	最優先に推進	こうした機会をとらえ、広く専門家の意見を求めていくことは、玉川上水の評価の再構築につながる。	事業実施	本事業にふさわしい講師を依頼し、歴史的な検証(解説)を交え、充実した内容としていくこと。	報償費 旅費 需用費	90 30 2	270 0 4
										合計	122	274
22	自然観察会の実施	玉川上水の自然環境に着眼し、歴史的な遺産とともに、自然の宝庫であることを認識する。	玉川上水の自然が比較的良く残されているところを中心に、自然観察しながら歩く(1日行程約10km) 1.羽村取水堰から福生市日光橋 2.福生市日光橋から小平市鷹の橋 3.小平市鷹の橋から三鷹市けやき橋	郷土博物館郷土博物館係	ソフト	最優先に推進	玉川上水を実際に歩くことにより、文化財として自然の宝庫として大切に守っていかなければとの意識の醸成につながる。	事業実施	自然観察会の冠事業として実施する。ただし、歴史的な検証(観察)の分野も入れるよう配慮すること。一方、玉川上水350周年事業に、小中学生を巻き込むような事業を検討すること。	報償費 需用費	30 10	30 10
										合計	40	40

	事務事業名	事業の目的	事業の内容	担当課 係名	シート区分	一次評価	課長コメント	二次評価	評価委員会コメント	内容	原課要求額	予算(査定)額
23	小学校への教育相談員の派遣	教育における様々な問題を早期発見・解決するため、教育相談員を市内各小学校に派遣し、巡回相談を実施し、市内小学校の教育相談の充実と市内小学校と教育相談室の連携の強化を図る。	市内小学校に週1回、1日4時間程度、教育相談員を派遣し、校内にて児童への教育相談及び教職員の児童理解の支援を行う巡回相談の試行した結果、効果があったが、現行の人員では対応が困難なため、1名増員により充実させたい。	指導室 指導係	ソフト	最優先に推進	教育相談員を市内各小学校に派遣し、巡回相談を実施することは、市内小学校の教育相談の充実、市内小学校と教育相談室の連携の強化及び教育相談員の学校教育現場理解の深化を図るために、大変効果的で必要不可欠な事業である。	事業実施	実施事業とするが、現行の相談体制や相談内容を評価して、実施内容を精査したうえで行うこと。事業費は、予算査定段階で決定することとする。	報酬	2,957	2,957
										合計	2,957	2,957
24	学校図書館司書の配置	各学校に司書資格を有する者を学校図書館司書として登用し、学校図書館教育の充実及び読書指導の充実を図る。	市内小・中学校に司書を週3日、1日4時間配置する。	指導室 指導係	ソフト	最優先に推進	現在の教職員体制の中で「総合的な学習の時間」の実施及び読書離れに対する指導支援が急務である。	事業実施	実施事業とするが、予算査定段階で財源調整を行い、優先順位をつけて実施する。	報酬	5,079	0
										合計	5,079	0
25	小学校へのALTの派遣	小学校における「総合的な学習の時間」の中の国際理解に関する学習の充実を図るため、ALTを派遣し、外国の生活や文化など異文化に触れ、小学校段階にふさわしい体験的な英語活動を実施する。	平成15年度は、英語活動推進校を3校指定し、3年生以上の各学級年間10時間程度の英語活動をALTを派遣し実施する。 平成16年度以降は、市内小学校全校で3年生以上各学級年間10時間程度の英語活動をALT派遣し実施する。	指導室 指導係	ソフト	最優先に推進	小学校における「総合的な学習の時間」の充実を図るうえで、ALTを派遣し、外国の生活や文化など異文化に触れ、小学校段階にふさわしい体験的な英語活動を実施することは、非常に効果的であり必要不可欠な事業である。	事業実施	実施事業とし、平成15年度に試行した結果を再度評価していくこととする。	委託料	1,530	1,530
										合計	1,530	1,530
26	羽村市地域福祉計画の見直し	社会の変化、新たな社会福祉システムに対応するため、また、市民の福祉に関する意識を高め、福祉活動への参加、促進を図るため、平成7年11月に策定された羽村市地域福祉活動計画(まいまい計画)の見直しを行う。そして、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる「ふれあいのまちづくり」の実現に向け、計画の推進を図ることを目的とする。	1.各分野で活動している団体の代表者等で構成する羽村市地域福祉活動策定委員会を6回開催 2.作業部会(3部会)を計6回開催 3.羽村市地域福祉活動計画の策定と計画書の発行	羽村市社会福祉協議会事務局 総務係	ソフト	最優先に推進	社会福祉法及び新しい福祉システムに対応するために必要不可欠であり、羽村市における新たな地域福祉活動の指針となる事業である。	事業実施	委員会として評価結果を聞き、市として意見を述べる場としてとらえる。(意見)推進する事業と考える。	報償費、需用費等	302	
										合計	302	
27	支援費制度による居宅介護(ホームヘルプサービス)	従来、市から受託し実施していた心身障害者(児)ホームヘルプサービス及び重度視覚障害者ガイドヘルパー派遣事業に中軽度の知的障害者(児)ガイドヘルパー派遣事業を加え、支援費制度による居宅介護(ホームヘルプサービス)事業として実施することにより、在宅福祉サービスの充実を図る。	1.身体障害者居宅介護等事業(ホームヘルプサービス)・・・日常生活を営むことに支障がある在宅の身体障害者が生活全般の介護、家事等の支援を受ける事業 2.知的障害者居宅介護等事業(ホームヘルプサービス)・・・日常生活を営むことに支障がある在宅の知的障害者が生活全般の介護、家事等の支援を受ける事業 3.児童居宅介護等事業(ホームヘルプサービス)・・・日常生活を営むことに支障がある在宅の障害をもつ児童が生活全般の介護、家事等の支援を受ける事業	羽村市社会福祉協議会事務局 社協ケアサービス	ソフト	最優先に推進	収支の関係から他事業者の参入が見込めなければ、当面、社会福祉協議会が支援費制度による居宅介護事業へ参入しなければならない。	事業実施	委員会として評価結果を聞き、市として意見を述べる場としてとらえる。(意見)市からの補助金は、事業が軌道にのれば削減する性格のものである。軌道にのるように推進してほしい。	需用費、役務費等	864	
										合計	864	

<ソフト：要求額の減額、事業内容の変更>

	事務事業名	事業の目的	事業の内容	担当課 係名	シート区分	一次評価	課長コメント	二次評価	評価委員会コメント	内容	原課要求額	予算(査定)額
1	羽村市まちづくりフォーラム開催事業	第四次羽村市長期総合計画に基づく「市民と行政が協働したまちづくり」を推進するため、これまでの市民との対話「市長とトーク」を継続する一方、同長期総合計画における各分野に掲げる施策の実現に向け、市内各界・各分野のトップの意見を聞くためのフォーラム(公開討論会)を開催し、市政に反映していくことを目的とする。	第四次羽村市長期総合計画の分野別に市内団体のトップをパネリストに迎えてフォーラムを実施する。開催に当たっては、事業者、各団体代表者、一般公募市民等180人ほどの視聴者を迎える。 平成14年度は、第四次長期総合計画の初年度として同長期総合計画全般にわたるフォーラムを実施したが、今年度については、羽村市産学官連携活性化会議の結果を受けて「活力に満ちた にぎわいのあるまち」をテーマとして実施し、翌年度以降についても、毎年度、同長期総合計画の分野別に実施していく。	企画課 企画担当	ソフト	最優先に推進	長期総合計画における各施策の推進を図るうえで、各団体や市民の意見を反映させるための重要な事業である。	要求額の減額、事業内容の変更	長期総合計画の5つの柱の所管部長が計画内容を詳細に説明するなど、啓発を主目的とし、基調講演は行わない方向で検討すること。 年に1回の開催では、長期総合計画期間中に終了しないので、1年間に2つの柱をセットにして開催することを検討すること。	消耗品費 郵便料 報償費	75 50 412	75 50 412
合計											537	537
2	女性相談窓口の開設	配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律(略:DV防止法)第二条に「国及び地方公共団体は、配偶者からの暴力を防止し、被害者を保護する責務を有する」と規定されていることから「女性の性」に対する人権意識を高めるとともに、男女平等を阻むあらゆる人権侵害の撤廃に向けて予防・啓発に努める。	DV防止法施行に伴い、増加傾向にある「暴力」に関する相談の対応も含め、女性の不安や悩みに適切に対応できるよう専門の相談員を配置して相談業務を行う。	企画課 男女共同参画担当	ソフト	最優先に推進	DV関係をはじめ、増加する女性の不安や悩みに対応するため、専門の相談員を配置し、市民の相談に対応するための体制の整備が急務である。	要求額の減額、事業内容の変更	相談受付窓口は、利用者のプライバシー保護の強化と広域連携の面から、福生市と共同設置、同時運用することを検討すること。 名称を変えたうえで、DVに主眼をおき、母子・婦人生活相談など一本化する方向で検討すること。	委託料	1,100	550
合計											1,100	550
3	地域イントラネットシステムの構築	市民に対する電子的な行政サービスの向上と、電子自治体構築への基盤整備を行う。	公共施設との高速ネットワークを構築(補助事業としては平成15年度が最終) 1.市民用行政情報の提供設備を設置 2.小中学校生徒に教育用動画設備を提供	情報システム課 情報化推進係	ソフト	最優先に推進	莫大な初期投資及びランニングコストがかかることが問題であると考える。	要求額の減額、事業内容の変更	地域イントラネットとして、いつまでにどのレベルで整備する必要があるのかよく検討すること。	回線使用料 導入委託料 使用料 その他	0 30,541 0 93,068	5,847 900 3,000 0
合計											123,609	9,747
4	住宅用太陽熱高度利用システム設置費助成	市民へ環境にやさしいエネルギーの利用を支援することにより、省エネルギー、省資源の啓発を行う。	住宅用太陽熱高度利用システムを設置する市民に対し、1件につき5万円の設置費を補助する。	環境保全課 環境保全係	ソフト	最優先に推進	地球に優しいエネルギーの導入を積極的に進めることが重要であり、また、市民への啓発に有効である。このことは、市の地球温暖化対策の施策の一環として取り組む必要がある。	要求額の減額、事業内容の変更	新規事業であり、当初の対象戸数を5件程度に設定して事業開始する。効果が十分に証明された時点で、拡大に努めていく方向で進めること。	補助金	1,000	250
合計											1,000	250
5	ふれあい福祉のしおり作成(冊子及びバリアフリーを取り込んだホームページ制作)	しおりの発行により、羽村市への転入者等に福祉事業の情報提供を行う。また、音声及び文字等に工夫をしたホムペ-ジを開設することにより、障害をもった人(目の悪い人等)にも福祉やボランティア活動、福祉施設の紹介等情報を提供することができる。	平成12年度にふれあい福祉のしおりを発行した。平成15年度に改訂版の発行を行い、併せてふれあい福祉のしおりのホムペ-ジを開設する。ホムペ-ジについては、音声読み上げ、拡大文字表示、画面の表示設定の切替(背景色、文字色、閲覧リンク色、フォントの種類、フォントのサイズの6種類)等行えるものとし、障害者等にも情報の提供を行う。	社会福祉課 庶務係	ソフト	最優先に推進	社会福祉基礎構造改革が推進する中で、社会福祉制度等の情報を障害を持つ市民にも適切に提供することが可能となる。	要求額の減額、事業内容の変更	冊子は計画どおり作成すること。 ホームページの開設は、さらに調査研究していくこととする。	印刷製本費 委託料	1,260 2,506	1,050 0
合計											3,766	1,050
6	記念バッジの作成	玉川上水開削350周年記念事業に参加された方々に記念となるバッジを作成する。 また、事業をアピールするためにのぼり旗を作成し、記念事業の実施時に掲出する。	玉川上水開削350周年記念事業に参加された方々に記念となるバッジを作成し、希望者に有料で販売する。 のぼり旗にはシンボルとなるデザインを施し、アピールを図る。	郷土博物館 郷土博物館係	ソフト	最優先に推進	羽村市が市を挙げて玉川上水開削350周年を記念し、取り組みを行っている姿勢をアピールする。	要求額の減額、事業内容の変更	PRに努めることは重要である。バッジがよいかどうか、方法について再考する必要がある。 方法は、今後の検討課題とする。	委託料	1,149	945
合計											1,149	945

<ソフト：次年度持ち越し>

	事務事業名	事業の目的	事業の内容	担当課 係名	シート区分	一次評価	課長コメント	二次評価	評価委員会コメント	内容	原課要求額	予算(査定)額
1	文書管理システムの導入	情報技術を活用した文書管理システムを導入し、文書事務の効率化、迅速化、省力化、ペーパーレス化を図る。	1. 文書管理システムの選定・導入 2. 文書管理規程等の見直し・改正 3. 総合行政ネットワークとの接続 4. システム説明会の開催 等	庶務課 文書係	ソフト	最優先に推進	平成15年度末のLGWANとの接続とLAN資源を有効活用する観点からも、文書管理システムを導入する利点は高いと考える。	次年度持ち越し	OA化を推進しても人員は減らず、効果が見えにくい。シート上の数値だけでは結論を出せない。平成15年度を研究期間として、次年度に持ち越す事業とする。ただし、LGWANの関係で必要が生じた場合は補正予算で対応することとする。	使用料	5,893	0
										合計	5,893	0
2	西児童館のパソコンシステム・パソコン機器導入(入れ替え)	児童館で気軽にコンピュータに触れる機会を提供し、創造性や科学する心を養い、高度情報化社会に対応できる子どもたちを育むことを目的とする。	西児童館の現行のパソコンシステム・パソコン機器は平成15年3月でリース期間を終了する。そこで平成15年度は新システム導入計画を進め、平成16年4月から新システム稼働とする。	児童課 児童館係	ソフト	推進	西児童館には、子どもたちの情報拠点である「コンピュータ館」という役割がある。しかし、進化の速いコンピュータ環境の中で、現行システムではその役割を十分に果たせない状況になってきている。このため、インターネット技術を取り入れた新しいコンピュータ体験を可能にするパソコンシステム・パソコン機器の導入は必要である。	次年度持ち越し	1年間かけて、西児童館のコンピュータ館としてのあり方を含め、コスト面・今までの効果などの検証を行い、今後の方針を決定すること。平成15年度は、再リース契約により対応すること。	需用費 委託料 使用料	100 3,200 1,818	0 0 1,827
										合計	5,118	1,827

<ソフト：実施しない>

	事務事業名	事業の目的	事業の内容	担当課 係名	シート区分	一次評価	課長コメント	二次評価	評価委員会コメント	内容	原課要求額	予算(査定)額
1	市町村合併情報紙の発行	市町村合併に関する基礎的な情報(特例法の概要、中核市・特例市等)を市民に提供し、市民の議論喚起を図る。なお、羽村市の現状と広域的課題等についても説明する。(財政状況、行政規模等)	市町村合併に関する情報誌を発行し、全戸に配布する。情報紙の規格は、広報はむらと同様とする。A4判8ページ、2色刷り、内部版下作成。全戸配布は、広報はむらと同様とする。年2回発行予定	広域・渉外担当	ソフト	最優先に推進	市町村合併への市の基本的な方向は、特例法の期限にこだわることなく、将来の市の方向を研究していくものであるが、そのことについての市民合意を得るため、また、市民間の議論を喚起するため、総合的な情報紙を発行することが望ましい。	実施しない	情報紙として単独発行するのではなく、広報の紙面を利用して情報提供する方向に改めること。	印刷製本費 委託料	696 846	0 0
										合計	1,542	0
2	玉川上水開削350周年記念事業「アニメーションの作成」	玉川上水開削350周年を記念して、市の歴史とともに歩んだ玉川上水を多くの市民に周知及び関心を持ってもらう	玉川上水をテーマとしたアニメーションを作製して図書館、コミュニティー等の市公共施設等に配備して市民等に貸し出しを行う	社会教育課 生涯学習係	ソフト	推進	玉川上水は郷土が誇る貴重な文化遺産として、市民にアピールしていくための事業として実施する。	実施しない	費用対効果の観点から、作成後、あまり活用が図られるとは考えにくい。ため実施しない。	旅費 需用費 委託料	20 50 5,000	0 0 0
										合計	5,070	0
3	玉川上水創作絵本の発行	玉川上水開削350周年を記念し、上水の今の状況を生活の中で見直すきっかけになるような絵本を発行する。	市民による編集委員会で編集する。30ページ、カラー版。2,000部発行。1冊1,000円程度で頒布。水中の観察写真や上水流域の様子などを中心に、玉川上水を身近に感じ理解することができるようなものにする。	図書館 図書館係	ソフト	最優先に推進	特になし	実施しない	発行が平成17年度になってしまい効果が薄れること、また、多額の事業費を要することから、実施しないこととする。	需用費 委託料	105 1,155	0 0
										合計	1,260	0